



車輪梅

<鹿島中学校 学校だより>

【平成28年11月号③】

益々寒くなりますので健康にご留意を 《重点目標》 『夢の実現に向けて、主体的に行動できる生徒』

「やりっぱなしに なっていませんか？」

2学期を締めくくる期末テストが終了しました。このテストに向けて準備し取り組んできたことが、思うように結果として表れたのでしょうか。子供たちは、先生方からもお話されていることと思いますが、保護者の皆さまもご存じのように、テストは終わった後が大切です。結果からしっかり反省し、理解出来ていないところを再度復習し、やり直すことです。今回のテストで良い結果を出せた人も、もう一度復習することで、安定した実力が定着します。

【 さらに、 ”トライ” してみよう 】

中学生もできる「心」「記憶」などの関係する神経群を鍛える7つの方法を以下に紹介します。

- ①性格を明るくして常に前向きの思考をする。
- ②常にやる気をもって行動する。
- ③何事も気持ちを込めて行う。(運動するときだけでは駄目)
- ④何に対しても勉強し、楽しむ気持ちを持つ。
- ⑤感動と悔しさは生きているからこそその宝物と考え、大切にする。
- ⑥集中力を高める。
- ⑦決断と実行を早くする。
- ⑧と⑦以外は、まさに、「好奇心」「プラス思考」「豊かな心」そのものだと感じます。



「勝負脳の鍛え方」林 成之著より

【 行為の意味 】

宮澤章二さんの詩集から



あなたの「こころ」はどんな形ですか
とひとに聞かれても答えようがない

自分にも他人にも「こころ」は見えない
けれどほんとうに見えないのであろうか

確かに「こころ」はだれにも見えない

けれど {こころづかい} は見えるのだ
それは人に対する積極的な行為だから

同じように胸の中の「思い」は見えない

けれど {思いやり} はだれにでも見える
それも人に対する積極的な行為なのだから

あたたかい心があたたかい行為になり

やさしい思いがやさしい行為になる
とき

「こころ」も「思い」も初めて美しく生きる

それは人が人として生きることだ

という詩です。
鹿島中生一人ひとりが思いやり
の心を積極的な行動として表し、
まず皆さんの身近なところから
具体的に取り組み中学生らしい姿を
見せてほしいと思います。